

まちなかだより

石巻中心市街地復興まちづくり情報誌

第3号

**メインストリートのデザインルール案が決まりました！
全国絆タウン（AKT）46がオープン！！**

街並み部会が開催されました ～商店街はどう変わる！？～

第4回・第5回街並み部会が、それぞれ2月8日と2月16日に開催されました。前回に引き続き、アイトピア通りや立町通りといったメインストリートとなる通りの街並みのあり方について、今回から模型を使いながら議論をしました。

「今ある建物を活かしながら、新たな建物をどのように作っていったら良いか」「壁面が揃っていないと、何も無い街に見えてしまう」「今度新たにできる商店は、ものを作っている様子が外から見えるようにする」といった様々な意見が出されました。議論の結果、また、専門家の先生方の意見を取り入れながら、以下の項目に沿って街並みをつくっていくことを、これから広く街なかの方々に呼びかけていくこととしました。

<主な内容>

①安全をつくる街並み

- ・避難経路、避難場所などのサインを、街並みを損なわないようなデザインとして積極的に設ける。
- ・壁面には浸水高を津波襲来の教訓として、デザインしながら残す。

①建物の正面

- ・1階の通り沿いは、ガラス張りとするなど、中の様子が見えるようなつくりとする。
- ・2～3階部分の壁面は揃える。
- ・1階部分をセットバックさせる場合には、商品、ベンチ等を置いて、楽しむ・休むことができるようにして通りの連続性を途切れないようにする。

②建物の高さ

- ・通りに面する部分は低層とし、街並みの連続性を確保する。
- ・1階部分の軒高は通りで連続したものとする。

③通り沿いの建物の用途

- ・1階部分は商業店舗、オフィスを中心とした非居住の用途とする。
- ・2階以上は住宅系の用途を中心とする。

④店頭部分について

- ・本日のお勧め品等を陳列し、店舗の滲み出しを図る。（特にアイトピア・旧市役所通り）
- ・看板は各個店の魅力を尊重しつつ、通り毎に共通のデザイン、高さとする。
- ・パイプシャッターを積極的に用い、照明でライトアップするなど夜間も賑わいを創出する。

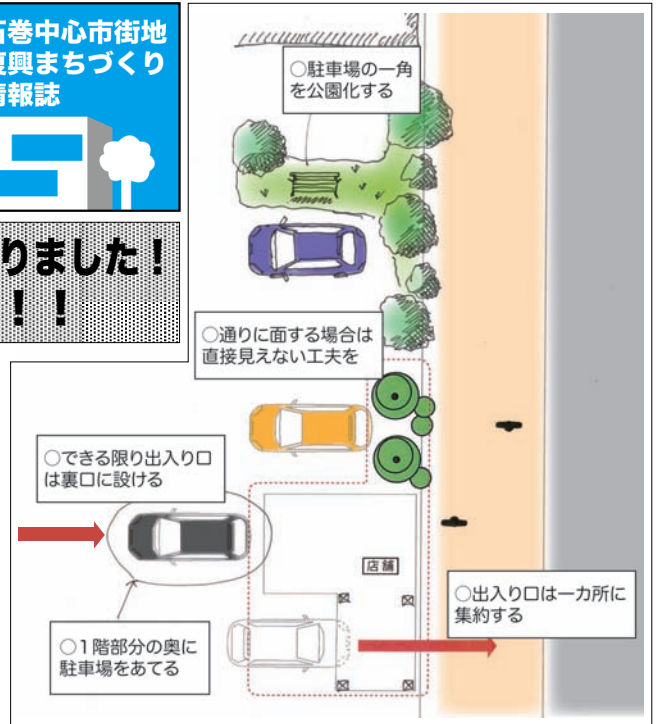
⑤駐車場について

- ・大通り沿いの駐車場は極力避ける。
- ・駐車場だけの利用ではなく、ベンチを置くなど駐車場以外の利用もできるようにする。

⑥空地・建物の壁面について

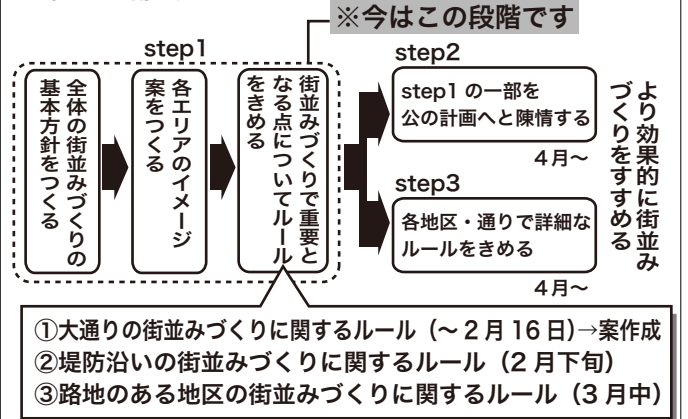
- ・空地を街にとってプラスに捉える。緑化を図り、子どもの遊び場、避難スペースとして利用する。

右：駐車場のつくり方の例



第5回街並み部会の様子

○街並み部会の進め方



- ①大通りの街並みづくりに関するルール（～2月16日）→案作成
- ②堤防沿いの街並みづくりに関するルール（2月下旬）
- ③路地のある地区の街並みづくりに関するルール（3月中）

“ルール”と聞くと、なんだかとても煩わしいもののように感じますが、街を魅力的につくっていくための“衣装決め”（＝ドレスコード）と考えて頂ければと思います（^_^）

この大通りの街並みづくりに関するルールをもとに、これから実際に新たに建つ建物について、お願いをしたり、話し合いをしていきます。次回からは、北上川堤防沿いの街並みに関するルールづくりを行っていきます。

LSB部会が開催されました ～“ブチ”石巻市民！～



第5回ライフスタイルブランド化部会の様子

第4回・第5回LSB（ライフスタイルブランド化）部会は、それぞれ2月1日と2月8日に開催されました。前回決まった「食・漁業文化」「歴史・生活文化」「新たな文化の創造・情報発信」の各分科会に分かれて、それぞれ“石巻の魅力探しとその活かし方”について、実際に品を持ち寄りながら話し合いました。

食・漁業文化分科会では、“ワカメ”に着目。被災後、最も早く漁に取りかかることができたのが“ワカメ”でした。ワカメの「元葉」と呼ばれる部分が、実は柔らかくてとても美味しいのに、足が早くあまり流通していないとか。これをヒントに、新たなワカメの販路、美味しい食べ方について、ワカメの試食をしながら意見を出し合いました。また、浜ごとに種類が異なる石巻地域周辺のワカメについて、復興の様子などをまとめた“ワカメ浜マップ（仮称）”の作成などのアイデアができました。

歴史・生活文化分科会では、石巻の素材と石巻にある技術を活かして、新たな地産品の開発に取りかかることとしました。まずは、これまで集めてきた素材、それらを活かして作った作品を、2月11日にオープンした「全国絆タウン（AKT）46」に展示することとしました。詳しくは、下記のまちなかフォーカスをご覧ください。

新たな文化の創造・情報発信分科会では、震災後、延べ25万人訪れたというボランティアの方々、あたたかい気持ちを、石巻の一つの文化にしていくための方法について議論しました。その一つとして、ボランティアの方々の“石巻ブチ市民”として登録できるようにし、今後も引き続き、石巻に関わりをもってもらえるようにすること。ネット環境を整備し（WiFi（ワイファイ）など）、石巻を訪れた人が、いたるところで石巻の情報を得ることができるようにする、といった意見が出されました。

LSB部会の成果は、順次、街なかの全国絆タウンにて展示、実証していきながら、さらに石巻の魅力の質を高めていきます。



ワカメの試食をしてみました

まちなかフォーカス

2月11日、街なかに全国の商店街の“逸品”を扱う店舗がオープンしました。ここは「全国絆タウン（略してAKT）46」といって、宮城県を除く全国46都道府県にある商店街の協力を頂き、イベントを通じ新しい「人・モノ・情報」の地域間交流を図るための拠点となる場所です。月ごとに、各都道府県の商店街の方々にお越し頂き、その地域ならではのイベントを開催するとともに、各商店街の逸品が販売されます。2/25～3/9は「東京都」の日です。詳しくは、まちなか情報局のHPをご覧ください。

また、この一角には「石巻ギャラリー」が設置され、大漁旗を用いたバッグ等、LSB部会での成果物を展示しています。是非、一度お越しになってみて下さい。

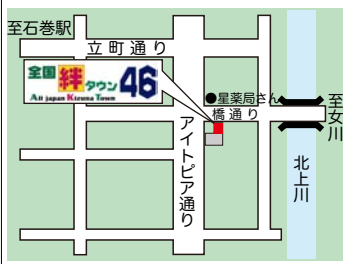


【営業時間】
10：00～17：00（不定休）

次回の街なか協議会

- 【街並み部会】
 - 第6回街並み部会
2月22日（水）19時より
 - 第7回街並み部会
2月29日（水）19時より
- いずれもホシノボックスピア2階「石巻まちカフェ」にて
- 【事業推進部会】
個別での開催となります。
- 【LSB部会】
第6回LSB部会
2月27日（月）18時より
街づくりまんぼう仮事務所1階

【全国絆タウン46位置図】



発行：コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会

発行日：平成24年2月22日

【お問い合わせ先】（お気軽にご意見・ご質問お寄せ下さい）
コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会 事務局
石巻市中央2丁目5-7（株）街づくりまんぼう
TEL:0225-23-2109 FAX:0225-23-2203
E-mail:info@man-bow.com

まだまだ目に見えた復興とはなっていませんが、街なかでは様々な話し合いが沢山のの方々によって積み重ねられています。街が明るくなるように、一人でも多くの方に街なかに来て頂くために、多くのイベントも開催されています。是非一度、街なかにお越しになってみて下さい。